

midas eGen チェックリスト

1. 適用範囲のチェックリスト

(1) 構造種別

No	適用範囲	補足	チェック
1	主たる構造種別が RC 造またはS 造の建築物か？	RC造またはS造の計算に対応します。	☐ Yes ☐ No
2	データベースにない材料を使用していないか？	データベースにない材料を使用した場合には、断面検定や終局耐力算出が必要です。	☐ Yes ☐ No
3	混構造ではないか？	混構造とした場合には、主体構造の取扱いについて検討が必要です。	☐ Yes ☐ No

(2) 建築物の規模と形状

No	適用範囲	補足	チェック
1	建築物の高さは 60m 以下か？	高さが60mを超える建物では、時刻歴応答解析による検討が必要です。	☐ Yes ☐ No
2	部分地下は無い？	部分地下とした場合には、部分地下の負担する水平力等に関する検討が必要です。	☐ Yes ☐ No
3	多剛床では無い？	多剛床とした場合には、建物の一体性等に関する検討が必要です。	☐ Yes ☐ No
4	ピロティ階は無い？	ピロティ階がある場合には、技術基準解説書2015年版の付録1-6に関する検討が必要です。	☐ Yes ☐ No
5	冗長性の低い建築物では無い？	出隅部の柱が当該階が支える常時荷重の20%以上の荷重を支持する場合には、斜め加力などに対する検討が必要です。	☐ Yes ☐ No
6	複数の層にわたる梁は無い？	梁が複数層にわたる場合には、複数層にわたる梁が伝達する水平力等に対する検討が必要です。	☐ Yes ☐ No

(3) 条件の適合

No	適用範囲	補足	チェック
1	計算ルートを満足しているか？	満足していない場合には、補足説明が必要です。	☐ Yes ☐ No
2	許容応力度を満足しているか？	満足していない場合には、補足説明が必要です。	☐ Yes ☐ No
3	必要保有水平耐力を満足しているか？	満足していない場合には、補足説明が必要です。	☐ Yes ☐ No

2. 留意事項のチェックリスト

(1) 部材断面形状

No	留意事項	補足	チェック
1	柱断面は実状通りにモデル化されているか？	実状通りにモデル化されていない場合には、別途の検討が必要です。	☐ Yes ☐ No
2	梁断面は実状通りにモデル化されているか？	実状通りにモデル化されていない場合には、別途の検討が必要です。	☐ Yes ☐ No
3	S造梁断面にH形以外の断面を使用していないか？	部材種別等、基準に定められていない項目に対する検討が必要です。	☐ Yes ☐ No
4	壁の形状は実状通りにモデル化されているか？	実状通りにモデル化されていない場合には、別途の検討が必要です。	☐ Yes ☐ No
5	RCブレースを使用していないか？	部材種別等、基準に定められていない項目に対する検討が必要です。	☐ Yes ☐ No
6	鉄骨ブレース断面は実状通りにモデル化されているか？	実状通りにモデル化されていない場合には、別途の検討が必要です。	☐ Yes ☐ No
7	小梁断面は実状通りにモデル化されているか？	実状通りにモデル化されていない場合には、別途の検討が必要です。	☐ Yes ☐ No
8	片持梁断面は実状通りにモデル化されているか？	実状通りにモデル化されていない場合には、別途の検討が必要です。	☐ Yes ☐ No
9	床の形状は実状通りにモデル化されているか？	実状通りにモデル化されていない場合には、別途の検討が必要です。	☐ Yes ☐ No

(2) 架構形状

No	留意事項	補足	チェック
1	梁が材の途中で折れる形状はないか？	柱が材の途中で折れる形状は扱いません。	☐ Yes ☐ No
2	柱が材の途中で折れる形状はないか？	柱が材の途中で折れる形状は扱いません。	☐ Yes ☐ No
3	スリットは実状通りにモデル化されているか？	スリットは完全スリットとし、片側，両側，三方スリットに対応します。	☐ Yes ☐ No
4	剛床は実状通りに考慮されているか？	剛床を考慮しない場合には、各スラブに弾性剛性処理の設定を行うか、非構造スラブでモデル化する必要があります。	☐ Yes ☐ No

(3) 前提条件

No	留意事項	補足	チェック
1	剛性計算, 断面検定, 部材耐力, 部材ランクでの補正は必要ないか?	必要な場合は別途の検討が必要です。	☐ Yes ☐ No
2	柱と梁が直交していない接合部の検討に問題はないか?	接合部は部材が直交するものとして検討を行います。	☐ Yes ☐ No
3	梁の軸力を考慮して検討する必要はないか?	S造の梁は指定により軸力を考慮します。RC造の梁は軸力に対する検討は行いません。	☐ Yes ☐ No
4	耐震壁の付帯ラーメンの検討は必要ないか?	耐震壁の周りの梁柱は開口際で破壊しないものとして検討します。	☐ Yes ☐ No
5	耐震壁は鉛直方向のせん断に対して破壊しないか?	耐震壁は鉛直方向のせん断力に対して検討しません。	☐ Yes ☐ No
6	RC 部材は保証設計を満足しているか?	保有水平耐力での保証設計の検討は指定により行います。	☐ Yes ☐ No
7	柱・梁は継手部および中央部で破壊しないか?	保有水平耐力では部材は中央部、継手部においては破壊しないものとして検討します。	☐ Yes ☐ No
8	鉄骨柱梁接合部と鉄骨梁継手部は保有耐力接合を満足しているか?	保有水平耐力の検討では保有耐力接合として扱います。	☐ Yes ☐ No
9	鉄骨ブレースは保有耐力接合を満足しているか?	保有水平耐力の検討では保有耐力接合として扱います。	☐ Yes ☐ No
10	鉄骨ブレースにおいて曲げの検討をする必要はないか?	鉄骨ブレースは軸方向力のみに対して検討しています。	☐ Yes ☐ No
11	柱においてブレースの偏心による影響を検討する必要はないか?	柱の検討でブレースの偏心応力は考慮しません。	☐ Yes ☐ No
12	露出柱脚においてブレースの偏心の影響を検討する必要はないか?	露出柱脚の検討でブレースの偏心応力は考慮していません。	☐ Yes ☐ No
13	露出柱脚においてベースプレートの曲げの検討をする必要はないか?	露出柱脚においてベースプレートの曲げの検討は行いません。	☐ Yes ☐ No
14	スラブや片持ち梁などの出寸法は2m以下か?	突出部分に作用する応力割増しを考慮した検討が必要です。	☐ Yes ☐ No
15	部材のねじれ応力に対する検討は必要ないか?	部材の検討でねじれ応力は考慮しません。	☐ Yes ☐ No

3. チェックリストに対する所見

[illegible]